

## 高山小学校に「夢先生」が来た！

12月11日、高山小学校5年生を対象として「夢の教室」事業が実施されました。「夢の教室」とは、様々なスポーツ選手を「夢先生」として学校へ派遣し、「夢を持つこと、その夢に向かって努力することの大切さ」、「仲間と協力することの大切さ」などをスポーツと夢先生の経験談を通じて子どもたちに伝えていこうという事業です。

今回、高山小学校に派遣された「夢先生」は、平成20年に北京オリンピックで新体操日本代表団体チームの一員として出場した坪井保菜美さんでした。坪井さんは得意技のリボンさばきで子どもたちの前に登場すると、子どもたちから大きな歓声を受けました。子どもたちは体育館でボールを使ったゲームを通して、クラスの仲間と協力して一つのことに取り組む大切さを学びました。その後、教室に戻って坪井さんはオリンピックに出場するまでの苦難の道のりを話すと子どもたちは真剣な表情で話しに聞き入っていました。授業の最後は子どもたちが笑顔で自分の夢を発表し、ハイタッチで「夢先生」との交流を終えました。



## 鶴岡慎也選手による野球教室開催

12月28日、本町(高山中学校)出身のプロ野球選手、鶴岡慎也捕手兼1軍バッテリーコーチ(北海道日本ハムファイターズ所属)による野球教室が町総合運動場で開催されました。

当日は、高山・国見・波野のソフトボールスポーツ少年団が参加し、憧れの鶴岡選手にアドバイスを受けて、緊張と嬉しさが子どもたちから伝わってきました。

鶴岡選手は講評の中で、「今日参加した子どもたちは道具を大切にできて感心しました。たくさんご飯を食べて大きくなって、自分と同じ肝付町出身のプロ野球選手が出てくることを楽しみにしています。」と話していただきました。



## 戸柱恭孝選手が総合支所へ表敬訪問

12月28日、横浜DeNAベイスターズで捕手として活躍されている、本町(内之浦中学校)出身の戸柱恭孝選手が、内之浦総合支所を表敬訪問されました。

また、試合で実際使用したバットやキャッチャー道具等の貴重な品々を寄贈くださいました。プロの世界で、豪速球を受け止めたキャッチャー道具や多くのヒットを放ったバットからは、試合の激しさと活躍ぶりが伺えます。

なお、寄贈を受けた品々は支所の玄関ロビーに展示させていただきましたので、ぜひご覧ください。

